

令和元年度第2回成田市防犯まちづくり推進協議会概要

1 開催日時

令和元年10月23日（水）午後3時00分～午後4時20分

2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所 議会棟3階 執行部控室

3 出席者

（委員）16名

中條会長，高仲副会長，勝田委員，佐瀬委員，斉藤委員，石川委員，
國本委員，泉委員，山本委員，井上委員，竹中委員，石川委員，
野尻委員，石田委員，福田委員及び武田委員

（事務局）7名

加瀬林市民生活部長，久能交通防犯課長，中清水交通防犯課主幹，
坂上交通防犯課係長，松田交通防犯課主査，宮崎交通防犯課主任主事，
畑田交通防犯課主事

4 議題

（1）役員の選出について

（2）第4次成田市防犯まちづくり推進計画（案）について

（3）その他

5 議事（要旨）

（1）役員の選出について

【事務局提案】

委員からの立候補及び互選がないため，事務局から提案。

会長については，当協議会発足当初から現在まで成田警察署管内学校
警察連絡委員会の代表を選出していることから，同委員会代表の中條
委員，副会長については，前期に引き続き高仲委員の選任を提案。

【審議結果】

異議なし。

（2）第4次成田市防犯まちづくり推進計画（案）について

【事務局説明】

第4次推進計画策定のスケジュール並びに計画の基本目標，施策体系
及び個別施策等について説明。

【委員からの意見】

福田委員：計画を遂行するためには，基準となるガイドラインが必要で

あると考えている。そのガイドラインの策定のためには専門知識が不可欠。例えば、(公社)日本防犯設備協会が認定する防犯設備士といったような専門資格の周知や取得のための費用助成等ができないか。これは今後の自主防犯活動を担うリーダーの育成にもつながる。

事務局：検討する。

井上委員：成果指標①の人口1万人当たりの犯罪発生件数の令和5年目標値を74.0とした根拠は。

事務局：平成30年1月における、千葉県内の「人口1万人当たりの犯罪発生件数」の平均値を目標値とした。

井上委員：成果指標②の市民意識調査「防犯体制の強化」に対する満足度の目標値を3.60とした根拠は。

事務局：市の他の施策（防犯以外の施策）で高い満足度を得ている項目を参照し、「防犯体制の強化」に対する満足度についてもそれらと同等を目指す意味でこの値とした。

井上委員：成果指標②については承知した。一方で成果指標①について、目標値が県内平均値ではどのような努力をすれば達成できるのかが不明瞭。犯罪発生件数が少ない地域というのは、人口が少ない地域が大半で、成田を含む都市部は犯罪発生件数が多い傾向にある。各地域で状況が異なる中で、県内の平均値を目標として達成は可能なのか。目標を高くもつのは結構だが、目標達成のための手段を明確にし、現実的に達成可能な値にするべきでは。具体的な理由なしに、安易に県内平均値を目標として掲げるとするのはいただけない。

事務局：検討する。

7 傍聴

傍聴者なし

8 次回開催日時（予定）

令和2年2月